

# 日本初の認証制度5月にも

## TSO第1回認証は12社



来年二月には首都圏で開催される展示会に出展したい考え。

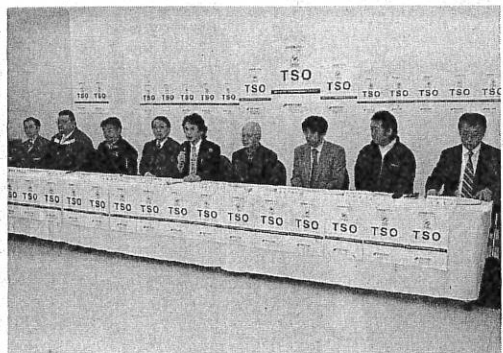
第一回の認証委員会後、午後三時三十分から開いた記者会見で、中野信男副会長は「燕から全国、全世界へ発信できる取組と考えている。今回の審査は、柔軟かつレベルアップが図られよう行っており、一歩でも二歩でも前に進むことができると確信した」と自信を見せた。

燕商工会議所が独自に、小規模事業所向けに実施する品質管理の認証制度「TSO(ツバメ・スタンダード・オーガナイゼーション)」の第一回認証審査委員会が、二十八日に開かれ、申請のあった十二社すべてを認証した。

TSOは、製造、設備管理に特化した日本初の簡易認証制度で、国際規格のISO9001を抜粋することで地域全体の品質向上を図るばかりか、職人個人に頼りがちだった技術を記録、継承することで、地域

全体の底上げをめざす。ISOに取り組みにくい小規模事業所に対応し、一定規模以上の企業に対してはISOに取り組みきつかけにもなる。

五月にも説明会を開いて募集をかけ、四十社の申請を目標としている。十二月までに認証審査を行って



認証委員会の小浦方格(いたる)委員長(新潟大学産学地域連携推進機構准教授)によると、認証を受けた十二社のうち二社は条件付き認証で、三ヶ月後、六ヶ月後、一年後にチェックを行って見守る。成長して下さい、もっと発展して下さいという期待を込めたといい、この取組によって「会社全体でポジティブな反応があると報告を受けている」と効果を紹介した。

会見には認証を受けた企業の関係者も出席し、「現場の意識が変わった」、「業務が煩雑になる、良い意味でなかなあだったところにも線を引くことになるなど、現場サイドの反発もあったが、少しずつ現場を良くする気持ちが生えてくる」、「取引先からISO認証について問い合わせがあり、渡りに舟だった。社員に変化が現れはじめている」などと高評価だった。

ただ、認証のハードルは「相当に厳しいもので、申請する企業側の努力も求められる。」(外山) 第一回の認証企業は次の通り。

- ▼(株)イケダ▼伊藤金属(株)
- ▼(株)イマジネイトセンター▼(株)内山溶接工業▼(株)おたまや▼後藤鋳業(株)▼(株)齋藤金型製作所▼サミット工業(株)
- ▼(株)セキヤ▼(南)フナックス
- ▼山崎金属工業(株)▼山崎研磨工場